

2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 コンドーテック株式会社
 コード番号 7438 URL <https://www.kondotec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 勝彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理本部長 (氏名) 安藤 朋也
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6582-8441

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,112	1.4	660	24.5	678	24.7	424	29.0
2020年3月期第1四半期	14,313	5.1	875	1.8	901	2.8	597	5.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 427百万円 (27.2%) 2020年3月期第1四半期 587百万円 (3.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	16.10	16.07
2020年3月期第1四半期	22.31	22.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	45,479	28,203	62.0
2020年3月期	46,335	28,387	61.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 28,175百万円 2020年3月期 28,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		14.50		14.50	29.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		15.50		15.50	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,700	2.2	1,600	20.9	1,640	20.9	1,100	21.0	41.82
通期	62,000	2.3	3,700	9.4	3,800	9.0	2,500	13.1	95.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2020年8月6日)公表いたしました「業績予想及び中期経営計画の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	27,257,000 株	2020年3月期	27,257,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,005,202 株	2020年3月期	782,673 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	26,354,181 株	2020年3月期1Q	26,791,150 株

(注) 株式付与ESOP信託が保有する当社株式(2021年3月期1Q: 26,300株、2020年3月期: 26,300株)及び株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2021年3月期1Q: 128,100株、2020年3月期: 128,100株)を期末自己株式数に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、四半期決算の補足説明資料を作成しており、四半期決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済活動や社会生活全般が甚大な影響を受ける等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、公共投資が底堅く推移したものの住宅投資が弱含んでいる状況の中、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費や企業収益が急速に悪化するなど、厳しい状況となりました。

このような状況のもとで、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により営業活動等が制約される局面があったものの、新型コロナウイルス感染症対策を講じるとともに、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こし、新商材の拡販などの営業活動に取り組んでまいりました。また、2020年2月に東海ステップ株式会社を子会社化するなど、事業拡大を図っております。

以上の結果、前連結会計年度に子会社化した東海ステップ株式会社の売上高が寄与したものの、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,112百万円(前年同期比1.4%減)と減収になりました。

利益面につきましては、諸経費の削減など、経営全般にわたって効率化に努めましたが、売上高減少の影響を完全には吸収できず、営業利益は660百万円(同24.5%減)、経常利益は678百万円(同24.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は424百万円(同29.0%減)と減益になりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<産業資材>

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、木造住宅用金物、ブレースなどの売上が減少したものの、前連結会計年度に子会社化した東海ステップ株式会社の売上高が寄与したことにより、当セグメントの売上高は8,758百万円(前年同期比4.6%増)となりました。利益面につきましては、輸入品を中心とした仕入価格の低下等により売上総利益率が改善したものの、東海ステップ株式会社の子会社化に伴い販売費及び一般管理費が増加した結果、セグメント利益は393百万円(同6.8%減)となりました。

<鉄構資材>

東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う端境期であったことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、鉄骨部材、アンカーボルト、ハイテンションボルトなどが厳しい状況で推移したことにより、当セグメントの売上高は3,467百万円(前年同期比9.6%減)となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費がほぼ横ばいで推移したものの、需要減少に伴う価格競争の激化により売上総利益率が低下した結果、セグメント利益は240百万円(同39.8%減)となりました。

<電設資材>

新型コロナウイルス感染症の影響を回避すべく「お客様感謝セール」を実施するものの、商業施設・工場・小中学校での空調機需要が落ち着くとともに、商品供給の遅延、工事案件遅延、設備投資意欲低下による投資案件の中止等により、当セグメントの売上高は1,886百万円(前年同期比10.5%減)となりました。利益面につきましては、利益率を意識した全社的な営業活動の展開と仕入コストの削減、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、売上高減少の影響を完全には吸収できず、セグメント利益は26百万円(同48.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末(46,335百万円)と比較して856百万円減少し、45,479百万円となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による需要低下に伴うたな卸資産の増加等があったものの、法人税等の支払いによる現金及び預金の減少並びに売上債権の減少等を主因として、流動資産が563百万円減少したとともに、繰延税金資産の減少等を主因として、固定資産が292百万円減少したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末(17,948百万円)と比較して672百万円減少し、17,275百万円となりました。これは、短期借入金が増加等があったものの、仕入債務、未払法人税等及び賞与引当金の減少等を主因として、流動負債が544百万円減少したこと等によります。

純資産合計は、前連結会計年度末(28,387百万円)と比較して183百万円減少し、28,203百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益424百万円の計上による増加があったものの、自己株式の取得224百万円及び剰余金の配当386百万円の支払いによる減少等があったこと等によります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末(61.2%)比、0.8ポイント改善し、62.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響度合いの算定が困難であることから未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報や予測等を踏まえ、業績予想を算定いたしましたので、詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び中期経営計画の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、今回公表した業績予想は、当第1四半期連結累計期間の業績をもとに、年度後半に向けて受注が徐々に回復することを前提とし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による再度の緊急事態宣言の発令等に伴う経済活動への制限につきましては想定しておりません。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として不透明であり、当社グループを取り巻く環境の不確実性が大きく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,305,639	8,187,234
受取手形及び売掛金	13,207,644	12,109,170
電子記録債権	1,695,792	1,692,370
商品及び製品	4,031,424	4,557,572
仕掛品	567,692	507,821
原材料及び貯蔵品	426,945	421,086
その他	680,955	873,273
貸倒引当金	△8,004	△3,791
流動資産合計	28,908,089	28,344,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,043,788	3,008,479
土地	6,520,181	6,520,181
その他（純額）	1,748,074	1,769,676
有形固定資産合計	11,312,044	11,298,338
無形固定資産		
のれん	3,142,346	3,085,450
その他	1,943,282	1,941,012
無形固定資産合計	5,085,629	5,026,462
投資その他の資産		
その他	1,040,305	820,219
貸倒引当金	△10,288	△10,275
投資その他の資産合計	1,030,016	809,943
固定資産合計	17,427,690	17,134,744
資産合計	46,335,780	45,479,483

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,333,966	3,508,913
電子記録債務	8,400,084	7,132,805
短期借入金	610,000	2,110,000
1年内返済予定の長期借入金	129,144	129,144
未払法人税等	678,720	98,832
賞与引当金	768,924	354,205
その他	2,037,590	2,080,484
流動負債合計	15,958,430	15,414,385
固定負債		
長期借入金	248,546	216,260
役員退職慰労引当金	30,015	—
株式給付引当金	63,088	60,794
退職給付に係る負債	817,011	739,565
その他	831,229	844,722
固定負債合計	1,989,889	1,861,343
負債合計	17,948,320	17,275,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,666,485	2,666,485
資本剰余金	2,434,555	2,434,555
利益剰余金	25,477,148	25,513,982
自己株式	△758,247	△979,401
株主資本合計	29,819,941	29,635,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145,678	127,441
繰延ヘッジ損益	777	△3,097
土地再評価差額金	△1,510,852	△1,510,852
為替換算調整勘定	10,704	25,759
退職給付に係る調整累計額	△109,972	△99,827
その他の包括利益累計額合計	△1,463,663	△1,460,575
新株予約権	31,181	28,708
非支配株主持分	0	0
純資産合計	28,387,460	28,203,753
負債純資産合計	46,335,780	45,479,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	14,313,945	14,112,992
売上原価	11,096,990	10,894,937
売上総利益	3,216,955	3,218,054
販売費及び一般管理費	2,341,308	2,557,358
営業利益	875,646	660,696
営業外収益		
受取利息	565	260
受取配当金	1,824	1,800
仕入割引	33,134	26,937
雑収入	13,378	8,606
営業外収益合計	48,902	37,605
営業外費用		
売上割引	16,352	13,976
支払利息	2,024	1,442
雑損失	4,285	4,062
営業外費用合計	22,662	19,482
経常利益	901,887	678,820
特別利益		
固定資産売却益	29	599
特別利益合計	29	599
特別損失		
固定資産除却損	954	211
特別損失合計	954	211
税金等調整前四半期純利益	900,961	679,208
法人税、住民税及び事業税	115,027	73,633
法人税等調整額	188,273	181,262
法人税等合計	303,301	254,896
四半期純利益	597,660	424,312
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	597,660	424,312

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	597,660	424,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,124	△18,236
繰延ヘッジ損益	△11,233	△3,875
為替換算調整勘定	1,023	15,055
退職給付に係る調整額	3,815	10,144
その他の包括利益合計	△10,518	3,087
四半期包括利益	587,141	427,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	587,141	427,399
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年11月7日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式226,500株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が224,961千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が979,401千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「追加情報」中の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	産業資材 (注1)	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	8,371,124	3,835,280	2,107,540	14,313,945	—	14,313,945
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	49,442	17,058	14,342	80,844	△80,844	—
計	8,420,567	3,852,339	2,121,882	14,394,790	△80,844	14,313,945
セグメント利益又は損失(△)	421,808	399,092	52,374	873,274	2,371	875,646

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の産業資材の421,808千円には、のれんの償却額11,309千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額2,371千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	産業資材 (注1)	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	8,758,645	3,467,632	1,886,713	14,112,992	—	14,112,992
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	59,997	18,943	36,819	115,760	△115,760	—
計	8,818,642	3,486,576	1,923,532	14,228,752	△115,760	14,112,992
セグメント利益又は損失(△)	393,272	240,140	26,976	660,389	307	660,696

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の産業資材の393,272千円には、のれんの償却額56,896千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額307千円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。